

日本共産党船橋市議団主催

無料 法律相談

4月19日(木)
5月16日(水)

弁護士が相談を受けます
労働相談も受けています
会場：中央公民館
時間：午後1時～4時
要予約 ☎436-3030

3月28日に閉会した第1回船橋市議会定例会には、ごみの収集回数3回から2回への削減に反対する市民の陳情が寄せられました。1275名の署名が添付された「可燃ごみの『週3回収集を維持すること』を求める陳情」(千葉・茨城公団住宅自治会協議会船橋ブロック)と「ごみ収集回数変更に対する陳情書」―ごみの収集回数を週3回

「ごみの収集回収を週3回そのままにして」市民陳情が不採択に 市民の背を向けた市議会議員は……

のままにしてください―」

(新日本婦人の会船橋支部)で、審査の結果はいずれも日本共産党と市民共生の会を除く多数の反対で不採択となりました。以下は各議員の陳情に対する賛否の態度です。ごみの収集を週2回に減らす予算も共産党を除く議員の賛成で可決されました。

しかし、収集回数の削減に対し多くの市民が「困る」「反対」と声をあげ、3回収集の継続を求める市民の署名活動が行われています。主催者は市民です。日本共産党市議団は引き続き収集回数の削減を撤回させるため力をつくします。

▼週3回の維持を求める陳情採択に対する各議員の態度

○=賛成、×=反対、欠=欠席、退=退席、※=選挙結果調から、(事)=事務所

会派	日本共産党						自由市政会															
	松崎佐智	坂井洋介	中沢学	渡辺ゆう子	岩井友子	金沢和子	佐藤重雄	関根和子	いとう紀子	小平奈緒	長野春信	浅野賢也	藤代清七郎	鈴木ひろ子	滝口一馬	渡辺賢次	佐々木克敏	川井洋基	大矢敏子	日色健人	中村静雄	七戸俊治
住所	西船	高根台	前原西	習志野台	丸山	夏見	若松	咲が丘	三山※	芝山	前原東(事)	夏見	古和釜町	前原西(事)	本町	大穴南	習志野台	馬込町	宮本(事)	海神(事)	二和東	三山
態度	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

会派	公明党				市民共生の会						民進党		船橋清風会		研政会													
	鈴木心一	桜井信明	木村修	松橋浩嗣	橋本和子	藤川浩子	石崎幸雄	松崎裕次	鈴木いくお	斎藤忠	齋藤和夫	うめない幹雄	池沢みちよ	三宅桂子	朝倉幹晴	つまがり俊明	浦田秀夫	神田廣栄	三橋さぶろう	高橋けんたろう	岡田とおる	斉藤誠	鈴木和美	杉川浩	滝口宏	長谷川大	石川りょう	島田たいぞう
住所	松が丘	三咲	旭町	南本町	金杉	松が丘	松が丘	薬円台	前貝塚町	楠が山町	高根台	三咲	高根台(事)	東船橋(事)	行田	高根台	松が丘	駿河台	習志野台(事)	二和東(事)	東船橋(事)	海神	西習志野※	湊町	咲が丘	三山	芝山	二和東
態度	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	退	○	○	○	○	○	退	×	×	×	×	議	議	×	×	×	×

◆森友真相解明これから 昭恵氏らの喚問を！

日本共産党船橋議員団

ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>
 市会議員

岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160
 金沢和子 ☎422-5278
 坂井洋介 ☎404-2039
 佐藤重雄 ☎432-9872

関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
 中沢 学 ☎493-8140
 松崎さち ☎090-6156-8592
 渡辺ゆう子 ☎462-7273

▼船橋市が公表した検討対象施設(学校分)

施設名	選定理由	2018年度の検討予定
金杉台中学校	10年後に1学年1学級の見込みである	早ければ再配置計画案の決定まで
豊富小学校	10年後に1学年1学級の見込みである	方向性案の検討
高根小学校	10年後に1学年1学級の見込みである	方向性案の検討
咲が丘小学校	10年後に1学年1学級の見込みである	方向性案の検討
市場小学校	(仮称)塚田第二小学校開校後に児童数が現在の半分を下回る見込みである	方向性案の検討
豊富中学校	10年後に1学年1学級の見込みである	方向性案の検討

市企画財政部財産管理課は3月議会で、公共施設等総合管理計画の検討対象施設を公表しました。検討対象とされた9施設のうち6施設が小学校(小学校4校、中学校2校)となっています。(表参照)

市は、「最大の施設量を有する小中学校を中心として統廃合、複合化、減築等を行い最適化を図る」とし、「10年後(2027年)に1学年1学級以下の見込みとなる小中学校」などを検討対象としています。

市は、「統廃合を前提として検討するわけではなく、施設状況を把握し、どのようにしたら有効に最適化を図れるか検討していく」としていますが、検討対象の筆頭にあげられている金杉台中学校については、「御滝中学校との統合」も「対応策」

の1つとされています。

新年度予算案の審議を行った市議会文教分科会では、教育委員会教育総務課から、「金杉台小中の学校評議員、PTA役員に意見を聞いている」、「小中学校長、学校評議員、PTA代表、教育委員会」で『船橋市立金杉台中学校の今後を考える会』を作り意見を申し出たという段階。『小さくてもいいじゃないか』という意見もあった」との答弁がありました。

市は、「期限が決まっているわけではない」との答弁でした。地域への情報提供・意見聴取については、「やっている。今後で話し合う」とのことでした。

学校は地域住民にとってかけがえない施設であり、検討対象となっている他の学校を含め、「町会・自治会など地域住民に広く情報提供を行い意見を聞くべきだ」と求めました。

公共施設等総合管理計画 (統廃合複合化 減築等)

小中学校6校が対象に